

## <聖霊に満ちた教会>

使徒2：40～47



### ・新型コロナウイルス以降の教会

インターネットを駆使し、オンラインを使って礼拝することが定着  
礼拝は済ませるもの？ 礼拝は捧げるもの？

ペンテコステの恵みである「聖霊の命」から、クリスチャンを切り離そうとする誘惑にもつながる。信仰生活の「習慣」を照らし、改めて点検する時期に来ている。

### 【イエスキリストの約束】

「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなくあなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」使徒1：4、5

「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」使徒1：8

注目すべきことは、「弟子達が様々な言語で神の偉大な業を語った」  
ここから福音の宣教がスタートした！

ペンテコステの日に、教会がこの地に誕生した。初代教会の人々の教会生活はどうだったのか。原点に立ち返り、その頃のクリスチャン達のあり方に注目。

- ・自分の内に聖霊が宿っておられる「新しい霊的現実」に心の目が開かれた。  
「信仰のリアリティー」がある。
- ・聖霊を宿す、信仰の共同体である教会につながった。

キリストを信じた者に起こったこと

- ①罪が赦されて救われた
- ②新しい共同体の仲間入りをした

そこで、彼のことは受け入れた者は、バプテスマを受けた、  
その日、三千人ほどが弟子に加えられた。

初代教会のクリスチャンたちから学ぶ、信仰生活の基本 42節以降

- ①彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。
- ②そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われた。
- ③信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。そして、  
資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。
- ④そして毎日、心をつ一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって  
食事をともにし、神を賛美し、
- ⑤すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。